

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)照葉1丁目計画賃貸棟 新築工事	階数	地上10F
建設地	福岡市東区香椎照葉1丁目24番20の一部	構造	RC造
用途地域	第2種中高層住居	平均居住人員	- 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年2月 予定	評価の実施日	2023年8月25日
敷地面積	5,084 m ²	作成者	宍道 弘志
建築面積	2,414 m ²	確認日	2023年9月25日
延床面積	9,891 m ²	確認者	宍道 弘志



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	敷地内に可能な限り緑地を設け、緑地に囲まれた歩道、広場等の空間を提供し、地域貢献を図る。 化学汚染物質の放散が少ない建築材料を積極的に採用している。 空間にゆとりを持たせ、バリアフリーに配慮した設計とする。	その他 特に無し。
Q1 室内環境	化学汚染物質の放散が少ない、JIS規格F☆☆☆☆・低VOCの建築材料を採用する。 庇とカーテンで昼光を制御する。	Q3 室外環境(敷地内) 建物周囲に緑地を複数箇所設け、室外環境の向上に配慮する。 緑地に囲まれた歩道、地域住民も利用できる広場等の空間を提供し、地域貢献を図る。
LR1 エネルギー	ガス消費量等の情報を表示できる、ガス給湯器リモコンを採用する。 効率の良いLED照明を採用する。	LR3 敷地外環境 広告物照明を設置しない。
	Q2 サービス性能 階高・天井高を十分にとり、空間にゆとりを持たせている。 バリアフリーに配慮し、バリアフリー新法の建築物移動等円滑化誘導基準を満たしている。	
	LR2 資源・マテリアル ODP値0かつ、GWP値1の発泡ウレタンフォーム断熱材を採用する。 ビニル系床材にリサイクル材を採用。 床タイル用接着剤に有害物質を含まない物を採用。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される